

事務事業評価シート

事務事業コード	023801	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	指定文化財等管理・活用事業(指定文化財等管理)		所属名	教育委員会事務局 文化財課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	直営
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	指定文化財等管理費			予算事業コード	01-09-04-05-02-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	・指定文化財(国・県・市など)
意図 (どのような状態にするために)	・文化財として良好な状態で保存・管理し、地域資源として活用できる状態を維持する。
手段 (どうするか)	・指定文化財を適正に保存・管理するため、清掃管理等を地域の住民にお願いする。 ・指定文化財を市民に広く周知し、啓発するため案内板・道標等を設置する。 ・市有の文化財を適正に保存・管理し活用する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別計画	①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置 ③歴史文化基本構想の策定作業 ④第11次の定点写真観測を実施	①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置 ③歴史文化基本構想の策定作業⇒事業費目を変更	①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	
年度別実績	①指定文化財の清掃管理を実施 ②案内板などの設置をした。	①指定文化財の清掃管理 ②案内板などを設置した。 ③第42回全国遺跡環境整備会議を開催した。	①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置 ③歴史文化基本構想の策定調査を行った。 ④第11次の定点写真観測を実施した。	①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,365	7,014	6,206	6,769	0	
	直接経費 A	3,755	3,354	2,584	3,174	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	9	0	14	39	0
	一般財源	3,746	3,354	2,570	3,135	0	
人件費 B	3,610	3,660	3,622	3,595	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	文化財案内看板等設置数	件	目標	4	4	4	4	4
				実績	1	3	4	4
(指標の説明)								
2	歴史文化基本構想の策定	%	目標	0	10	50	90	100
				実績	0	10	40	70
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】保存整備係 0857-30-8421</p> <p>【10次総の施策体系】3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：9月補正・P25（教006）</p> <p>【事業の概要】 文化財保護法及び文化財保護条例に基づき、指定文化財の適正な管理と活用を図る。</p> <p>【事業の成果】 草刈や清掃などの管理を実施し、指定文化財を適正に保存することができた。案内板や道標の維持管理によって市民の文化財保護意識を醸成・向上した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き指定文化財の適正な保護に努める。</p> <p>※その他財源の使用料は、電柱等使用料。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	文化財案内看板等設置数	25%	75%	100%	100%	
	2	歴史文化基本構想の策定		100%	80%	78%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	着実に指定文化財の管理・活用を図ることができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	歴史文化基本構想策定に伴う調査事業でアンケートの回収等に遅れが生じたため目標を下回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>指定文化財は年々増加しており、観光などへの活用の機運も高まっていることから、今後も引き続き適切な管理を継続するとともに、必要に応じて手法などを改善していく。今後、説明板の増設や文化財に関する冊子の刊行など、さらに基礎的な条件整備を目指す。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	023802	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	指定文化財等管理・活用事業(池田家墓所管理)		所属名	教育委員会事務局 文化財課	

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成16年度 ~ 令和10年度
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の	目標の種類別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	補助金交付
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	史跡鳥取藩主池田家墓所管理補助金			予算事業コード	01-09-04-05-02-03

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡鳥取藩主池田家墓所
意図 (どのような状態にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が事業主体となり、平成15年度に策定した「保存整備計画」に基づく復元や保存修理・環境整備を行う。また、その成果を活用し、文化財の利活用を推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ○藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催 ○次年度工事の設計 ○史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業	①史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助 ・藩主墓の保存整備工事 ・設計監理 ・保存整備委員会の開催 ・次年度工事の設計 ・史跡管理と啓発事業
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	11,548	12,208	8,287	9,034	0	
	直接経費 A	10,826	11,476	7,563	8,315	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	10,826	11,476	7,563	8,315	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	池田家墓所を活用したイベントへの来場者数	人	目標	600	700	700	700	700
				実績	700	700	0	500
(指標の説明) 池田家墓所燈籠会等、池田家墓所を活用したイベントへの来場者数。基準値は27年度実績								
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-30-8421</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P231（教039）</p> <p>【事業の概要】 （公財）史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が実施する管理事業及び保存修理事業を補助する。保存修理は保存整備計画（平成15年度策定）に基づき、平成16年度から令和10年度までの予定。 ◎管理事業（単県・市事業：県・市が各1/2の割合で負担） ◎保存修理事業（国庫事業：国1/2、県・市が各1/4の割合で負担）</p> <p>【事業の成果】 鳥取藩主池田家墓所の適切な管理・活用を進めることができた。 平成29年度 11,476千円 平成30年度 7,563千円 令和元年度 8,315千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 保存修理事業の完成に向けて着実に事業を進め、管理を適正に実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	池田家墓所を活用したイベントへの来場者数	117%	100%		71%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	整備計画の範囲外にき損が生じ、整備箇所を振替えたため。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	天候不順だったため来場者が少なかったと考えられる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>令和10年度の修理完成に向けて着実に事業を進めていく。</p>		
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>			

事務事業評価シート

事務事業コード	023902	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	上寺地遺跡管理事業		所属名	教育委員会事務局 文化財課	

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成16年度 ~ 全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	直営
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	上寺地遺跡管理事業費			予算事業コード	01-09-04-05-16-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡青谷上寺地遺跡
意図 (どのような状態にするために)	史跡青谷上寺地遺跡は現在14万6,132.99㎡の広さがあり、市有地、県有地及び私有地が混在しており、史跡内の私有地について県が公有地化を進めている。「国史跡青谷上寺地遺跡 保存管理計画及び整備活用基本計画」に沿って、史跡内の環境保持と情報発信に努めるとともに史跡整備を進め、国内有数の弥生遺跡として貴重な青谷上寺地遺跡を活かして、地域活性化や郷土の誇りにつなげる。
手段 (どうするのか)	史跡地内の市有地及び県有地については、史跡整備まで市及び県それぞれが除草・水路管理等を実施し、情報発信及び体験事業については、県、市及び関係団体で組織する青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会で連携して活動している。全国的な知名度アップと来訪者数の増加を目指す。また、史跡整備については、発掘調査成果や弥生の王国調査整備活用委員会の意見等を踏まえ、県に協力し基本設計、実施設計及び整備を進めていく。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う実施設計・工事費等負担
年度別実績	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担 ③青谷上寺地遺跡整備に伴う基本設計負担	①青谷上寺地遺跡公園の除草 ②青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会負担		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	6,098	6,214	6,502	5,613	0	
	直接経費 A	3,932	4,018	4,329	3,456	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,932	4,018	4,329	3,456	0		
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	史跡内の草刈等の環境整備実施回数	回	目標	2
	(指標の説明) 史跡内の草刈等の環境整備実施回数		実績	2	2	2	2	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-30-8421</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成20年に国史跡に指定された青谷上寺地遺跡の遺跡保護と景観の保全管理 県とともに事業運営をしている史跡保存活用協議会へ負担金の支出 青谷上寺地遺跡の保存整備 <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 公園区域内及び周辺水の除草作業等を実施し、周辺の水田・住宅等に影響を及ぼさないよう、遺跡の保護と景観の保全管理を行うことができた。 史跡保存活用協議会の管理運営事業に対して経費を半額負担した。 <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>青谷上寺地遺跡の整備を県と共同で円滑に進める。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	史跡内の草刈等の環境整備実施回数	100%	100%	100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	予定通り除草作業を実施することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	青谷上寺地遺跡の環境を目標通りに保つことができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>令和2年度より県との共同事業により青谷上寺地遺跡の保存整備事業に本格的に着手するため、本事業は将来的には廃止されるが、整備事業開始に伴い、費用負担の増額が見込まれる。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	024000	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	鳥取城跡保存修理事業		所属名	教育委員会事務局 文化財課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	昭和32年度～ 全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、根拠計画等	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備基本計画・文化財保護法
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%		
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	運営方法	直営
			0	0	会計区分	
予算	予算事業名	鳥取城跡保存修理事業費			予算事業コード	01-09-04-05-06-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平
意図 (どのような状態にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	「保存整備基本計画」に基づき、史跡鳥取城跡の建造物の復元や石垣の修理、環境整備などを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。	平成29年度 ①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。	平成30年度 ①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。	令和元年度 ①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。	令和2年度 ①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。	
	年度別実績	①大手登城路内の内、擬宝珠橋復元に着手した。 ②内堀の崩落した石垣を修理した。 ③史跡の管理・環境維持を実施した。 ④史跡の調査研究・情報発信を行った。	①大手登城路の擬宝珠橋復元工事を行った。 ②中ノ御門石垣修理に着手した。 ③史跡の管理・環境維持を実施した。 ④史跡の調査研究・情報発信を行った。	①大手登城路の復元整備を実施した。 ②文化財の保存修理を実施した。 ③史跡の管理・環境維持を実施した。 ④史跡の調査研究・情報発信を行った。	①大手登城路の復元整備を実施した。 ②文化財の保存修理を実施した。 ③史跡の管理・環境維持を実施した。 ④史跡の調査研究・情報発信を行った。	①大手登城路の復元整備を実施した。 ②文化財の保存修理を実施した。 ③史跡の管理・環境維持を実施した。 ④史跡の調査研究・情報発信を行った。	①大手登城路の復元整備を実施した。 ②文化財の保存修理を実施した。 ③史跡の管理・環境維持を実施した。 ④史跡の調査研究・情報発信を行った。
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	280,594	334,919	361,274	297,260	0	
	直接経費 A	273,375	327,600	354,031	290,070	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	163,919	189,690	182,626	176,079	0
		地方債	56,400	104,700	134,300	95,000	0
		その他	472	19,768	22,959	0	0
一般財源	52,584	13,442	14,146	18,991	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	大手登城路の発掘調査の進捗率	%	目標	70	75	80	85	90	
				実績	70	75	80	85	0	
	(指標の説明) 大手登城路内の発掘調査の進捗率。									
	2	大手登城路等石垣修理	%	目標	5	30	45	50	60	
				実績	5	30	45	50	0	
	(指標の説明) 大手登城路及びその周辺の石垣修理工事の進捗率。									
3	大手登城路復元整備事業	個	目標	1	1	2	2	2		
			実績	1	1	1	1	0		
(指標の説明) 大手登城路内で整備する復元建造物の整備工事数。										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-30-8422</p> <p>【10次総の施策体系】3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P232（教041）</p> <p>【事業の概要】 鳥取城跡附太閤ヶ平は、昭和32年に国指定文化財になって以後、年次計画で昭和18年の鳥取大震災等で損傷した石垣の保存修理を実施してきた。現在は、「史跡鳥取城跡保存整備実施計画」（平成18年度策定）に基づき、令和5年度を目標に大手登城路復元業整備事業に取り組んでおり、平成20年度から復元の資料を得るための発掘調査を補助事で実施している。市民からも要望の強い鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図る。また、史跡の管理・活用を適正に実施する。</p> <p>【事業の成果】 市民から強い要望のある鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進した。文化財としての保存・活用を適正に実施した。 平成29年度 327,600千円 平成30年度 354,031千円 令和元年度 290,070千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 整備計画の実現のために着実に事業を進めていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	大手登城路の発掘調査の進捗率	100%	100%	100%	100%	
	2	大手登城路等石垣修理	100%	100%	100%	100%	
	3	大手登城路復元整備事業	100%	100%	50%	50%	

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	国庫補助金のシーリングにより、財源が不十分だったため
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	財源の不足により事業の組換えを余儀なくされたため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>国庫補助金のシーリングを受けるなど計画を遅延させる要素があり、進捗を図るためには新たな財源の確保などの改善が必要である。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	024100	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	文化財調査事業		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	直営
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	埋蔵文化財調査費		予算事業コード	01-09-04-05-11-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	開発原因者
意図 (どのような状態 にするために)	遺跡の範囲を確認し、開発事業との調整を図る。
手段 (どうするのか)	開発事業計画区域内に試掘調査を実施し、遺跡の有無を確認する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績	①試掘調査の実施	①試掘調査の実施	①試掘調査の実施	①試掘調査の実施	①試掘調査の実施	①試掘調査の実施
		①試掘調査件数 10件 ・山手所在遺跡 ・湖山所在遺跡 ・青谷上寺地遺跡 ・亀井茲矩公墓所	①試掘調査件数 14件 ・会下・郡家遺跡 ・山根所在遺跡 ・布勢所在遺跡 ・鬼田小寺遺跡 ほか ②土壌分析 1件 ・青谷上寺地遺跡	①試掘調査の実施 ・下段遺跡 ・大橋遺跡 ほか	①試掘調査の実施 ・陸達所在遺跡 ・大橋遺跡 ・海土所在遺跡 ほか		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	27,279	22,054	25,796	19,384	0	
	直接経費 A	21,504	16,199	20,002	13,632	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	11,734	5,623	7,985	4,193	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	9,770	10,576	12,017	9,439	0		
人件費 B	5,775	5,855	5,794	5,752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.80	0.80	0.80	0.80	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	試掘調査を実施した遺跡数	件	目標	18
			実績	10	14	15	13	0
	(指標の説明) 試掘調査を実施した遺跡数							
2	開発事業との協議件数	件	目標	100	150	150	150	150
			実績	232	226	177	165	0
	(指標の説明) 開発事業との協議件数							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-30-8421</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P 2 3 2 (教0 4 2) 6月補正・P 5 2 (教0 1 3)</p> <p>【事業の概要】 埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努める。埋蔵文化財包蔵地の開発に当たっては、発掘調査等を行い、遺構や遺物を記録保存し調査報告書として後世に伝えていく。また、出土遺物の保存修理等を行い適切に保存する。</p> <p>【事業の成果】 陸達所在遺跡、大桒遺跡など13か所で試掘を行い、165件の開発協議を実施した。 平成29年度 16, 199千円 平成30年度 20, 002千円 令和元年度 13, 632千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 埋蔵文化財を担当する文化財専門員の年齢に偏りがあり、高年齢化しつつある状況である。また、試掘後の本調査を担当している(公財)鳥取市文化財団の埋蔵文化財センター職員も高年齢化しており、将来的に業務に支障を来す状況である。また、収蔵庫も不足しており、センターの設備についても整備が必要である。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	試掘調査を実施した遺跡数	56%	140%	150%	130%	
	2	開発事業との協議件数	232%	151%	118%	110%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	着実に事業を実施することができた。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	開発協議及び試掘調査件数とも増加している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)		

適切な事業実施の方法や鳥取市埋蔵文化財センターの将来像なども含めて検討する。

事務事業評価シート

事務事業コード	024200	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	埋蔵文化財体験・活用事業		所属名	教育委員会事務局 文化財課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	直営
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	埋蔵文化財体験・活用事業費			予算事業コード	01-09-04-05-30-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民及び市内の小学校
意図 (どのような状態 にするために)	出土品を直接触れる機会を創出したり、発掘調査の成果を市民に公開する場を設ける。
手段 (どうするのか)	出土品の活用を図るために小学校へ出前授業を実施する。展示会は博物館はもとより、公民館や図書館等の施設で開催し市民へ調査成果等を還元する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		年度別計画	①出土品の展示会 ②遺跡の見学会 ③小学校への出前授業 ④古墳ガイドブック作製	①出土品の展示会 ②遺跡の見学会 ③小学校への出前授業	①出土品の展示会 ②遺跡の見学会 ③小学校への出前授業	①出土品の展示会 ②遺跡の見学会 ③小学校への出前授業	①出土品の展示会 ②遺跡の見学会 ③小学校への出前授業
年度別実績	①出土品の展示会 (博物館1回) (地区公民館2箇所) ②遺跡の見学会 (梶山古墳 柳本廃寺跡) ③小学校への出前授業 (市内35校) ④古墳ガイドブック作製	①出土品の展示会 (地区公民館1箇所) ②遺跡の見学会 (梶山古墳) ③小学校への出前授業 (市内37校)	①出土品の展示会 (地区公民館1箇所) ②遺跡の見学会 (梶山古墳) ③小学校への出前授業	①出土品の展示会 (地区公民館2箇所) ②遺跡の見学会 (梶山古墳 柳本廃寺跡) ③小学校への出前授業 (市内35校) ④記念物100年展 (巡回展 3か所)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,254	2,537	4,862	6,451	0	
	直接経費 A	1,088	341	2,689	4,294	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	793	0	2,015	1,675	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	295	341	674	2,619	0		
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	発掘展の入場者数	人	目標	1000	1000	1000	1000	1000
				実績	4161	1000	1000	1000
(指標の説明) 発掘展の入場者数								
2	遺跡見学会の参加者数	人	目標	200	200	200	200	200
				実績	350	220	200	200
(指標の説明) 遺跡見学会の参加者数								
3	出前授業実施率	%	目標	100	100	100	100	100
				実績	79.5	84.1	84.1	79.5
(指標の説明) 出前授業実施率								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】保存整備係 0857-30-8421</p> <p>【10次総の施策体系】3302</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 多くの市民に考古学の楽しさや地域の歴史に興味・関心をもってもらい、文化財愛護の精神の醸成を図る。</p> <p>【事業の成果】 ・小学生を対象に「こども考古学教室」を実施し、本物の出土品に触れたり、火起こしなどの体験活動を行った。 ・発掘調査によって出土した遺物を多くの市民に見てもらうために、移動展示を行った ・史跡梶山古墳壁画の一般公開及び栃本廃寺跡の公開を行った。 ・出土遺物の公開活用を進めるために出土遺物の再収納を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 歴史文化基本構想の策定と合わせ、内容・対象の充実を図る。市内全校での実施を目指すとともに、実施方法等を検討していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	発掘展の入場者数	416%	100%	100%	100%	
	2	遺跡見学会の参加者数	175%	110%	100%	100%	
	3	出前授業実施率	80%	84%	84%	80%	

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおり事業を実施した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	見学会や展覧会については計画通り実施できたが、出前授業は希望校が少なかったため目標を下回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>小学校での出前授業、公民館での展示等については、効果は大きい職員員の負担も大きいため、実施方法の改善を検討する必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	024301	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(仁風閣・宝扇庵)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	昭和51年度 ~ 全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市仁風閣及び宝扇庵の設置及び管理に関する条例
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	施設管理
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%		
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	運営方法	指定管理
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	仁風閣・宝扇庵管理費		予算事業コード	01-09-04-05-07-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	仁風閣・宝扇庵
意図 (どのような状態にするために)	重要文化財建造物を含む施設の維持管理を行うとともに、文化財・文化観光施設としての活性化を図る。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、文化財建造物の適正な管理と施設の円滑な管理運営を行い各種展示・イベント等の活用事業を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③外壁等改修	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③門扉等改修	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③男子トイレの修繕	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③耐震診断の実施	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③耐震診断の実施	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③耐震診断の実施
年度別実績	①施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③外壁等改修	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③門扉等改修	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③男子トイレの修繕	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③耐震診断の実施	①文化財建造物・施設の管理運営 ②企画展・イベント等の開催 ③耐震診断の実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	21,319	21,926	21,541	21,833	0	
	直接経費 A	19,153	19,730	19,368	19,676	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	19,153	19,730	19,368	19,676	0		
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	仁風閣・宝扇庵の入場・利用者数	人	目標	37000
			実績	39097	42578	37975	40401	0
	(指標の説明) 仁風閣・宝扇庵の入場・利用者数							
2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	80	80	85	85	85
			実績	85	86	87	87	0
	(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-30-8421</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：12月補正・P25（教004）</p> <p>【事業の概要】 仁風閣は明治40年、当時の皇太子（後の大正天皇）の山陰行啓に際し、宿舎として建設されたものである。この建物はルネッサンス様式を基調とした木造二階建てで昭和48年に重要文化財に指定された。 昭和49年から51年にかけて半解体修理を行い、以後定期的に外壁塗装の塗り替えなど維持管理を行っている。昭和51年11月から一般公開を行い、平成18年4月から指定管理者制度を導入している。</p> <p>【事業の成果】 本市におけるシンボルの存在として、文化財建造物を適正に管理・活用することができた。老朽化による部分的な破損等について、修繕等を適切に行った。 平成29年度 19,730千円 平成30年度 19,368千円 令和元年度 19,676千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 建造物の老朽化が進行しているため、小修繕だけでなく、大規模な保存修理が必要である。令和5年を目途に修理工事の準備をすすめ、あわせて保存活用計画を策定するなど今後さらなる活用を進めたい。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	仁風閣・宝扇庵の入場・利用者数	106%	112%	97%	101%	
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	106%	108%	102%	102%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画通りに事業を進めることができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	入場者数は目標を上回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>仁風閣の建造物としての劣化状況から、令和5年を目途に大規模修理が必要であることから、公開・活用においても手法等を改善して進める必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	024302	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	文化施設管理事業(青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成5年度～全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館の設置及び管理に関する条例、鳥取市あおや郷土館の設置及び管理に関する条例
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	施設管理
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	指定管理
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館運営管理費			予算事業コード	01-09-04-05-32-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館 鳥取市あおや郷土館
意図 (どのような状態にするために)	施設の維持管理を行うとともに、地域の歴史文化を情報発信し、地域の活性化に資するとともに、利用者の増加を図る。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、各種展示・体験活動等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		年度別計画	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施
年度別実績	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施	①施設の管理運営 ②企画展・イベントの開催 ③講座・体験活動の実施	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	31,388	31,645	31,455	31,996	0	
	直接経費 A	30,666	30,913	30,731	31,277	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,505	4,386	3,961	3,820	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	12	12	12	11	0
一般財源	26,149	26,515	26,758	27,446	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	青谷上寺地遺跡展示館の利用者数	人	目標	8000
	(指標の説明) 利用者数		実績	7975	8230	8678	11479	0
2	あおや郷土館の利用者数	人	目標	8000	8500	9000	9500	10000
	(指標の説明) 利用者数		実績	8862	8425	9809	11341	0
3	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	60	60	65	65	65
	(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合		実績	60	64	87.4	85.9	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-30-8421</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 鳥取市青谷上寺地遺跡展示館及びあおや郷土館の適正かつ円滑な管理運営を図るとともに、常設展示・特別展示・体験活動等を通じて文化財愛護の啓発育成を図る。</p> <p>【事業の成果】 指定管理施設として、下記の業務を実施した。 ○指定管理者：(公財)鳥取市文化財団(平成28年度から5年間) ○業務の範囲：青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館の管理運営全般 展示館等の利用に関する業務 施設・設備の維持管理 企画展示等に関する業務</p> <p>【今後の課題と対応】 あおや郷土館については山陰海岸ジオパークの拠点施設でもあり、鳥取市西部地域の拠点資料館として適切な管理運営を図る。老朽化する設備の更新、利用の促進や収蔵資料の保存などが課題である。 上寺地遺跡展示館については、青谷上寺地遺跡の整備の進捗により常設のガイダンス施設が整備されることから、将来的には施設の転用などを考慮する必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1 青谷上寺地遺跡展示館の利用者数	100%	97%	96%	121%	
	2 あおや郷土館の利用者数	111%	99%	109%	119%	
	3 満足度調査の総合で良いと答えた割合	100%	107%	134%	132%	

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	指定管理者による管理運営計画は順調に実施された。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	目標を達成し、利用者数は増加している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>青谷上寺地遺跡展示館については、青谷上寺地遺跡のガイダンス施設の開館(令和5年)を目途に機能を統合する。あおや郷土館については、ジオパーク、日本遺産等の取り組みを視野に改善継続を図る。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	024303	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(歴史博物館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成12年度 ~ 全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市歴史博物館の設置及び 管理に関する条例
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	施設管理
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	指定管理
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	歴史博物館管理費			予算事業コード	01-09-04-05-34-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市歴史博物館
意図 (どのような状態 にするために)	登録博物館として適正な維持・管理・運営を行い市民文化の向上に資するとともに、利用者の増加を推進する。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、調査研究・展示・体験活動等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の開催 ③体験活動・イベント等の開催	①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の開催 ③体験活動・イベント等の開催	①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の開催 ③体験活動・イベント等の開催	①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の開催 ③体験活動・イベント等の開催	①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の開催 ③体験活動・イベント等の開催	①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の開催 ③体験活動・イベント等の開催
事業費	年度別実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の開催 ③体験活動・イベント等の開催	①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の開催 ③体験活動・イベント等の開催	①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の開催 ③体験活動・イベント等の開催	①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の開催 ③体験活動・イベント等の開催	①施設の管理運営 ②特別展・企画展等の開催 ③体験活動・イベント等の開催	
事業費の内訳	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	123,631	125,832	169,447	260,809	0	
	直接経費 A	122,909	125,100	168,723	260,090	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	123,900	0
		その他	57	68	0	85	0
一般財源	122,852	125,032	168,723	136,105	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				鳥取市歴史博物館の利用者数	人	目標	21000	21500
2	(指標の説明) 利用者数 満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	55	55	60	60	60
			実績	49	51	77.5	56.4	0
3	(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-30-8421</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P234（教045）</p> <p>【事業の概要】 平成12年7月1日に開館した鳥取市歴史博物館は、市民が気軽に文化財に触れ、生涯にわたり愛護精神や郷土愛を培いながら、鳥取の歴史や文化を体系的に学習することができる施設である。</p> <p>【事業の成果】 指定管理者：公益財団法人鳥取市文化財団 老朽化した空調機1台を更新し、トイレの改修や常設展示室更新のための実施設計を行った。 平成29年度 125,100千円 平成30年度 168,723千円 令和元年度 260,090千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 令和2年に開館20周年を迎えることから、平成28年度より常設展示のリニューアルの準備を進めており、令和2年には一時休館して工事を行う。常設展示室は令和3年4月にリニューアルオープン予定。</p> <p>※その他財源の諸収入は、電気代、水道代。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	鳥取市歴史博物館の利用者数	100%	155%	183%	138%	
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	89%	93%	129%	94%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画通りに事業を進めることができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	満足度は概ね目標通りであったが、利用者数は目標を大きく上回っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>令和3年度のリニューアルオープンを機に本市のセンター館として位置付けるとともに、体験学習などにより来館者の満足度を向上させる。</p>		
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>			

事務事業評価シート

事務事業コード	024304	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(因幡万葉歴史館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成6年度～全期
	政策	03	魅力ある鳥取文化づくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市因幡万葉歴史館の設置 及び管理に関する条例
施策	3302	文化財の整備・保存・活用				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	施設管理
	「文化財が適切に保存管理されている」と思う市民の割合(H26年度:62%)		0%	65%	運営方法	指定管理
	主な文化財関連施設への入込数		97,000人	109,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	因幡万葉歴史館管理費			予算事業コード	01-09-04-05-35-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市因幡万葉歴史館
意図 (どのような状態 にするために)	施設の維持管理を行うとともに、利用者の増加を図る。また、隣接する国府史跡ネットワーク広場の維持管理と有効活用を図る。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、各種展示・体験活動等を実施する。また、隣接する国府史跡ネットワーク広場の管理委託を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催	平成29年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催	平成30年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催	令和元年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催	令和2年度 ①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催	
	年度別実績	①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催	①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催	①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催	①施設の管理運営 ②企画展・体験事業・ イベント等の開催		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	45,444	45,555	50,637	49,409	0	
	直接経費 A	44,000	44,091	49,188	47,971	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	301	360	3,068	333	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	19	25	114	19	0
一般財源	43,680	43,706	46,006	47,619	0		
人件費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		因幡万葉歴史館の利用者数	人	目標	23000	23500	24000	24500	25000	
			実績	23774	23650	30084	38348	0		
	(指標の説明) 利用者数利用者数									
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	65	65	70	70	70	
				実績	75	77	80	71	0	
(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-30-8421</p> <p>【10次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：6月補正・P31（教003）</p> <p>【事業の概要】 平成6年10月に開館した鳥取市因幡万葉歴史館は、万葉歌人の大伴家持が国守として赴任した国府地域を中心とした歴史文化等を体系的に調査研究し展示公開する施設である。</p> <p>指定管理者制度を活用して適正な管理に努めている。</p> <p>【事業の成果】 万葉集だけでなく鳥取市の古代・中世に関する展示等を行い、教育普及や観光に貢献している。令和元年度は万葉集にちなむ改元もあり、施設の一部を改修し、多くの入館者に楽しんでいただいた。</p> <p>平成29年度 44,091千円 平成30年度 49,188千円 令和元年度 47,971千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 建造物や設備、常設展示の老朽化対策が課題である。 令和改元に伴う万葉集のゆかりの地として、また日本遺産認定に伴う麒麟獅子舞関連の展示や事業等、新しい要素も加味し、将来像を考えていく必要がある。</p> <p>※その他財源の使用料は、駐車場使用料。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	因幡万葉歴史館の利用者数	103%	101%	125%	157%	
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	115%	118%	114%	101%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画通りに事業を進めることができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	目標を達成し、特に利用者数については目標を大幅に上回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>因幡・但馬の麒麟獅子舞の国重要無形民俗文化財指定を受けて、設置当初より大きなテーマの一つである民俗芸能の継承・活性化、およびこれらが主要な構成要素となっている日本遺産の情報発信等の機能を拡充していく。</p>		